

第6章 新居浜市観光振興の推進体制

6-1. 各主体の役割分担と連携体制

本計画を推進していくためには様々な主体が、それぞれの役割を積極的に担うこと、そして協力・連携していくことが必要です。そこで、各主体に期待する役割を次のように定めます。

新居浜市民

新居浜市にある多様な自然、歴史、素晴らしい文化を、まずは市民が知り、誇りや愛着を持つことが重要です。こうした誇りや愛着を持って主体的に新居浜市の観光振興へ関わっていくことが、本計画を推進していく重要な原動力となります。

また、新居浜市を来訪する観光客の皆様を、感謝とおもてなしの心で迎える気持ちを、市民全体で共有していきます。

観光関連事業者

観光施設、宿泊施設、飲食店、物産販売、交通事業者は観光産業の中心的役割を果たすことから、常におもてなしと感謝の心で観光客を迎え入れるとともに、観光客の満足を生む質の高いサービスとは何かを考え、改善していく意識を共有していきます。

各種関連団体

本計画に記載されている各事項は、多分野にわたることから、観光協会、商工会議所、物産協会、地元企業、NPO等の各種団体とも積極的な連携が不可欠です。今後はさらなる組織間の交流を図って、新しい価値の創出に取り組みます。

新居浜市

各主体が連携できる仕組みを構築するとともに、観光にかかる様々な分野での積極的な支援を推進します。またハード設備の整備など、行政にしかできない役割を果たしていきます。

上記各主体の連携体制として、官民が一体となった「チーム新居浜」体制によって、本計画を推進していきます。

6-2. 東予東部地域における広域連携の推進

観光客の視点においては、旅行先における行政区分の違いはそれほど重要ではありません。つまり、新居浜市観光だけでなく、東予東部観光、愛媛県観光、四国観光といった階層における観光動態を把握し、四国内の各自治体、組織と連携した取り組みを推進していくことが重要です。

特に東予東部地域は、地理的条件・歴史・文化的背景の多くを共有しており、地域間連携によって一層の相乗効果が見込まれる地域です。

・東予東部地域における連携事業の推進

- ①東予東部圏域振興イベントの開催
- ②法皇山脈ブランド化ステップアップ事業
- ③東予ものづくり三市連携推進協議会事業
- ④NS 観光推進協議会事業

・愛媛県との連携

「愛媛県観光振興計画」においては、愛媛県内を「東予東部ゾーン」「しまなみ街道周辺ゾーン」「中予ゾーン」「南予ゾーン」と4つのゾーンに分け、その特性を踏まえ「4つのゾーンと観光客の流れ」の創出に向けた施策の展開を明記しています。

こうした施策との連携も積極的に行い、愛媛県全体の観光の魅力向上に取り組まします。

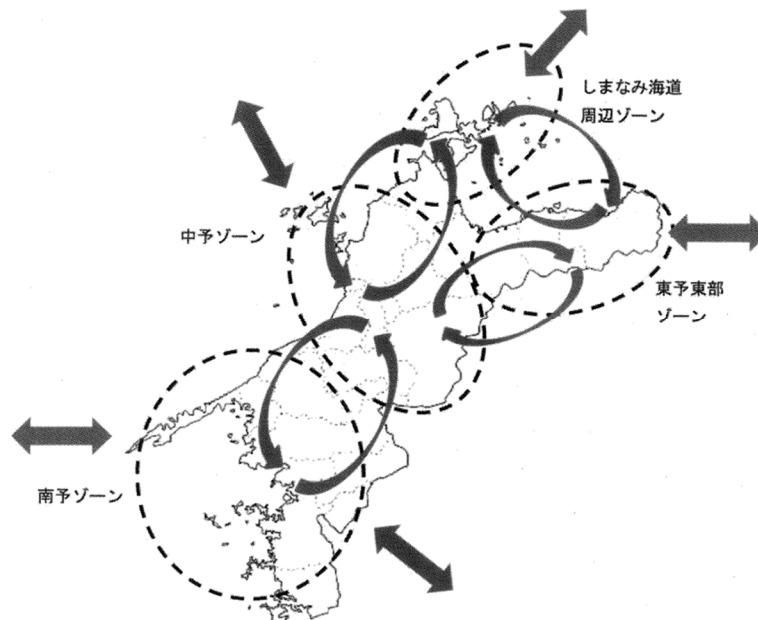


図 22. 4つのゾーンと観光客の流れ(出典：愛媛県観光振興計画)



新しい交流が繋ぐ
新居浜市の過去と未来

新居浜市観光振興計画の策定にあたり、新居浜市内外の多くの皆様から、新居浜市の魅力や地域資源についてたくさんのご意見をいただきました。こうしたご意見をまとめていくと、新居浜市は産業遺産群を中心に、豊かな地域資源によって彩られていることに改めて気付かされます。

こうした地域資源の多くは、新居浜市の偉大なる先人達が築き上げ守ってきたものです。新居浜市の観光振興に取り組むということは、新居浜市民一人ひとりが「偉大なる先人達が築き上げた豊かな新居浜市を次世代に引き継ぎ、明るい未来へ繋げていくこと」であると思います。

本計画が、希望に溢れる新居浜の未来を実現する一助となることを願い、この計画の結びとします。